

るメリットは、寄り道気分でお客様に来ていただける点です。基本的に薬局は処方箋がないと入りにくいところなので、本屋と併設することは入店の敷居を下げるのに大いに役立っています。

さらに、通常は薬局でスマホやテレビを見ながら待ち時間を過ごすと思うのですが、うちの薬局では本を手にとってもらえます。そして、自分がそうだったように、普段本屋に行かない人にも人生を変えるような本に出会ってほしいと考えていて、そのきっかけになれることも良い点だと思います。

本屋側のメリットとしては、薬局では薬剤師がコミュニケーションを取りますが、それによって本屋に繰り返し来てもらえるようになることです。ものを買う時に、誰から買うかは一つの判断基準になりますから、仲がいい店員がいる店に行きたいのは当然の心理だと思います。

また、本屋は気軽に立ち寄り場所だと言っても、本を読む人しか行かないじゃないですか。読書離れが進んでいく中で、薬局に本が置いてあることで

普段あまり本を読まない人にも手にとってもらえるかもしれないので、本との偶然の出会いが生まれる機会が増えることも自分にとってメリットになっています。それをコンセプトにしてい

ているので、薬局と本屋を融合させた経営はうまくいっているのかなと感じています。

で、そういう観点からも人に相談すべきですね。相談できる人を見つけるには、まず大学のキャリアセンターに行くという手段があります。

——最後に瀬迫さんが新たに挑戦したいことがあれば教えてください。

もともと本屋を仕事に組み込んだのは薬局に変化を加えたいと思ったからではなく、本屋が好きだからです。ですから、薬局を軸とした活動ではなく、本屋を軸とした活動に取り組みたいです。

その中でも、本屋の数が減っているという問題に一石を投じたいです。例えば、ある自治体では本屋を誘致したいけれどもうまくいかないという現状があります。このような地域に、薬局と本屋の掛け合わせで参入できるのなら地域の方々にも喜んでいただけるのではないかと考えています。また、薬局のことにとらわれるのではなく、地域に本屋が残るような活動を行っていき

好きなこと、価値観、得意なことに着目

——薬学生に向けて将来のアドバイスををお願いします。

将来のことに悩む時期は定期的に訪れるものです。大切なのは、悩んだ時にしっかり考え、それを定期的に継続することです。定期的にとというのがポイントで、1回やったことをもう1回やるかやらないかだけでも大きく変わってきます。あの時こうしておけば良かったという後悔が生まれないうちにも、悩んだ時にその気持ちを丁寧に拾うことが大切です。

また、1人で悩んでいたら思考停止してしまいやすいし、悩んでいる段階で自分がやるべきことが見えていない状況なので、誰かに相談するのがポイントですね。では、どんな人に相談すべきかということ、しっかり話を聞いて

くれた上でアドバイスをくれる人です。

例えば進路について、薬局で働く方がいい、ドラッグストアで働く方がいい、病院で働く方がいいなど言うのは簡単です。しかし、簡単なアドバイスによって、相談者の本当の気持ちに蓋をしてしまう恐れもあります。キャリアコンサルタントやコーチングの資格を持つ方など、丁寧に話を聞き、適切な質問を投げかけてくれる方に定期的に相談することがおすすめです。

また、やりたいことを探すには、自分の好きなこと、価値観、自分の得意なことの三つにバランスよく着目することが大切です。これらは人と比較することで相対的に分かることもあるの

Q 薬学部4年生です。いよいよ実務実習が始まります。私はアルバイト経験が少ないので、職場のマナーをよく知りません。知らないままだと先輩方にとっても失礼なことをしてしまうのではないかと不安です。働く場で、気を付けることをアドバイスしてください。

A 実務実習が始まるのですね。大学によっては、実習開始前にマナー講座などが行われているようです。もし大学で外部講師の講座があれば、積極的に参加しましょう。実務実習の場は、先輩薬剤師が毎日働く医療の現場です。様々なマナーがありますが、基本的なことを一通り説明します。

まず、時間厳守は当たり前のこととして、良好な人間関係づくりに欠かせないあいさつは、必ず「自分から」。職場では、朝は「おはようございます」「今日もよろしくお祈りします」、昼は「お疲れ様

薬学生 キャリア相談 Q&A



キャリア・ポジション
代表取締役
西鶴 智香

実務実習で注意すべきマナーは？

です」、帰り際には「お先に失礼します」と言います。

いつも口角を上げ、ハキハキした発声と素早い行動を意識してください。やってはいけないことは、「朝から下を向き、無表情で、ボソボソ小さい声での応対」。呼ばれたらすぐに「はい」と返答し、素早く行動します。社会人は、時間を大切にします。

話を聞く時には、相手と視線を合わせましょう。視線を合わせることは、相手に関心を持って聞いていることを伝える意味があります。必ずやらなければなりません。視線を合わせるのが苦手な方は、相手の「瞳」を見るのではなく、眉間と眼のあたりをぼんやり見るようにしてみてください。視線を合わせない薬剤師は、医師からも患者からも感じが悪い人だと嫌われますよ、気

をつけて。

話しかける際には「失礼します」と声をかけます。相手の話を聞く際には、必ず相づちや頷きを入れます。「はい」「ええ」「そうですか」等の言葉と、分かった際には必ず、大きく頷く動作をします。理解できなかった場合は頷かず、分かるまで質問をします。会話は全て必ず敬語で。大学生はもう十分大人です。敬語が綺麗に使えて当たり前。実習を機に、しっかりと敬語の練習をしましょう。

これらを全て日頃から意識すれば、アルバイトの場面だけでなく、大学生活においても、先生方、先輩方との会話やサークルなどですぐに取りかかれます。実習だけでなく、日頃から意識して行動しましょう。

薬ゼミの就職イベント!!

2023年2月下旬~3月上旬開催予定

6年生対象

4月入社に間に合う
【合同就職セミナー】

詳しくはこちら▲ お申込みはこちら▲

5年生対象

国試対策&就職活動
【薬ゼミオリジナルイベント】

詳しくはこちら▲ お申込みはこちら▲

事前登録の上で参加されると Amazonギフトカードなどの特典あり!

※イベントごとに条件が異なりますので、必ずご確認の上お申し込みください

学校法人 医学アカデミーグループ 薬ゼミ—ータルラーニング事業部
イベント運営 事務局

✉ event@yakuzemi.ac.jp